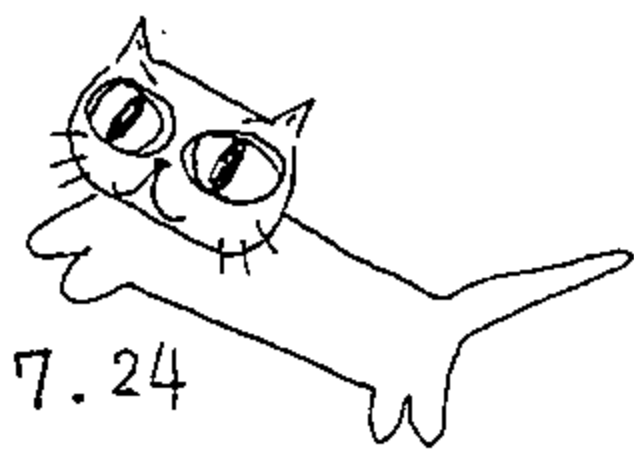


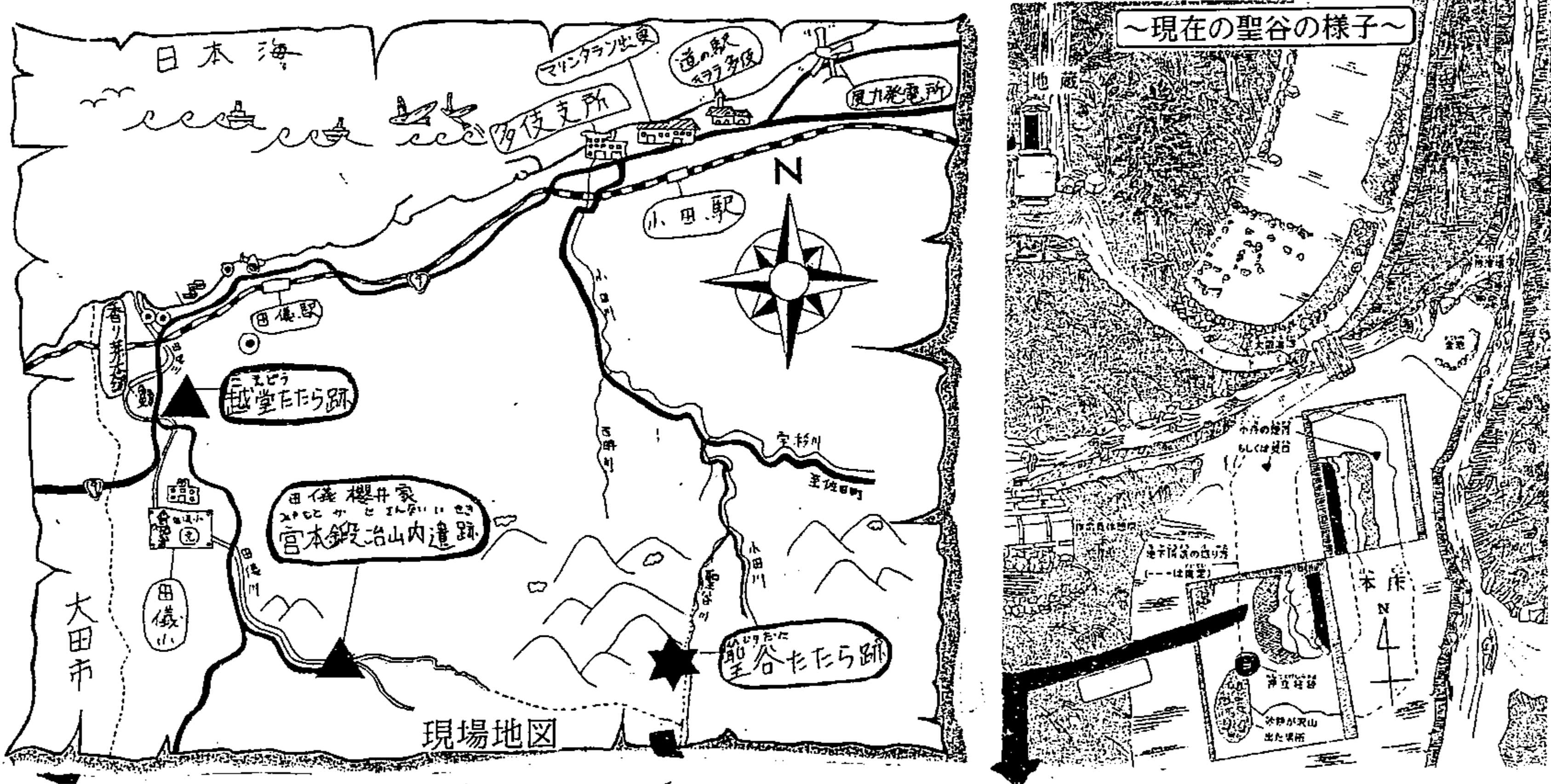


鉄! この部屋!!

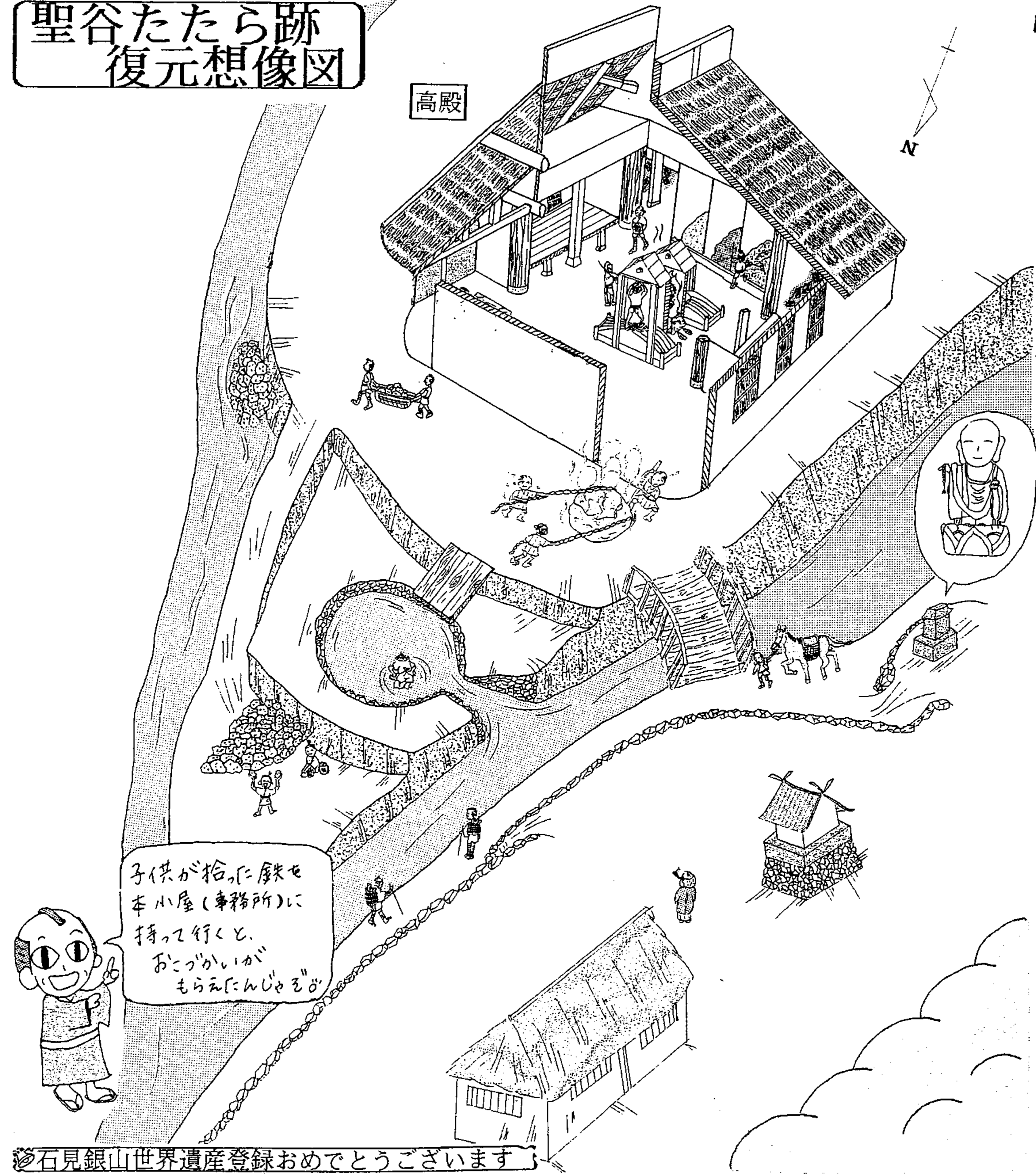
H.19.7.24
*4号



田儀櫻井家たたら製鉄遺跡 NEWS

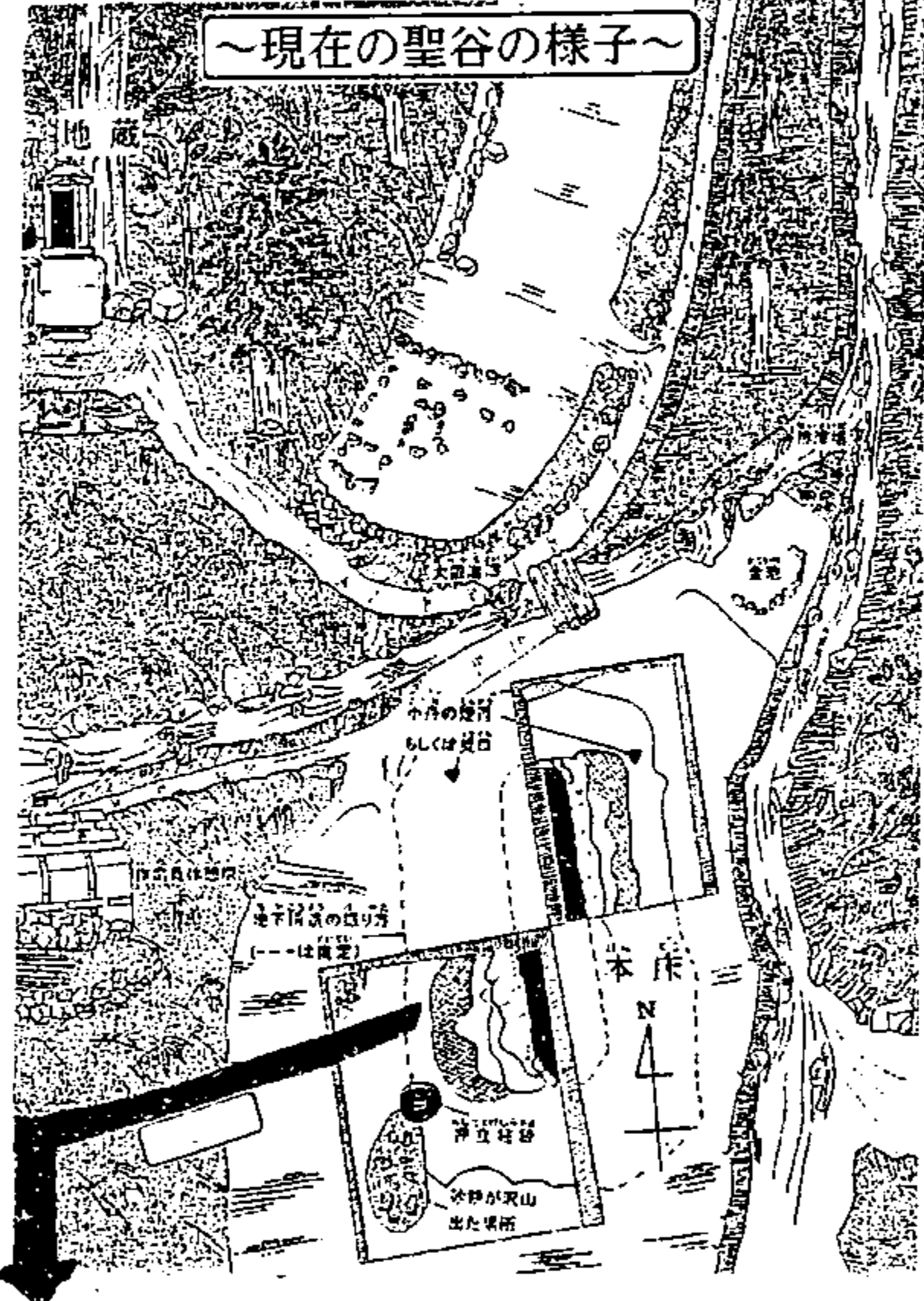


聖谷たたら跡 復元想像図



子供が拾った鉄を本小屋(事務所)に持って行くと、おにつかいがもらえんじやろ

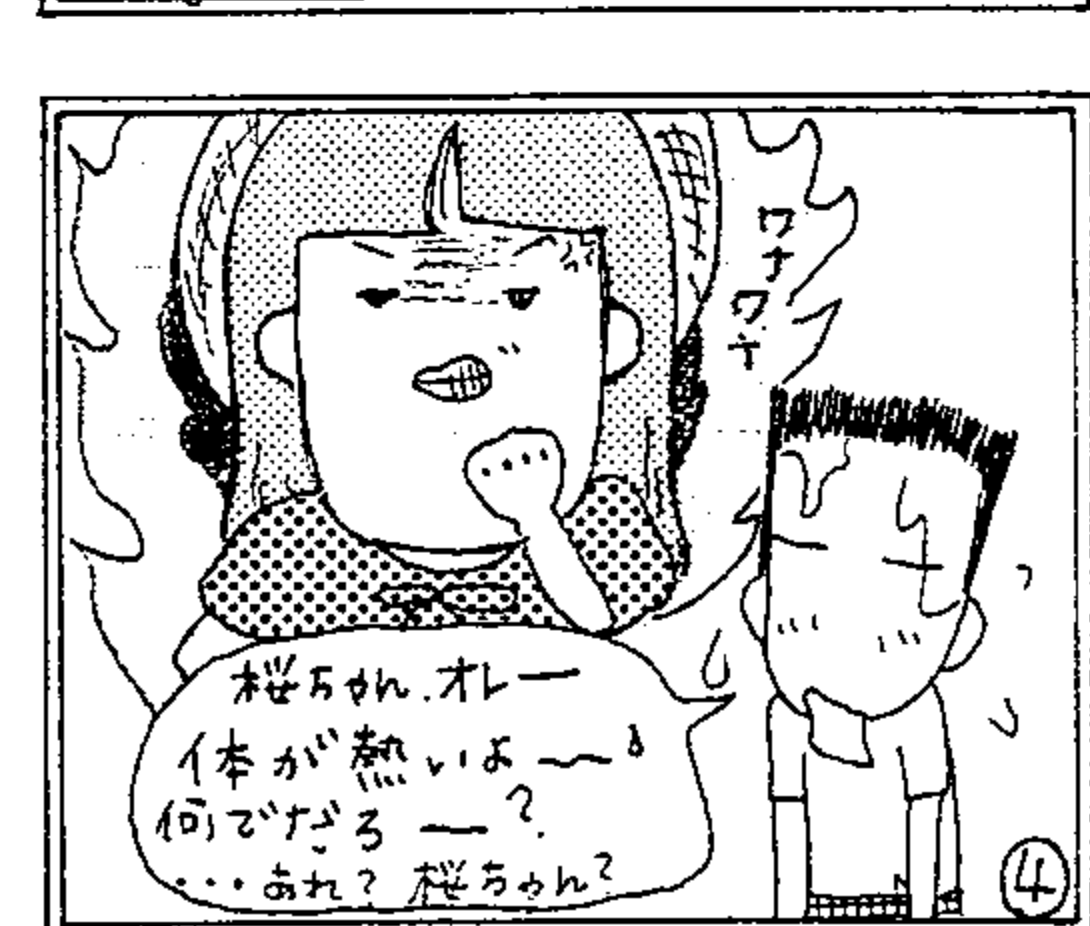
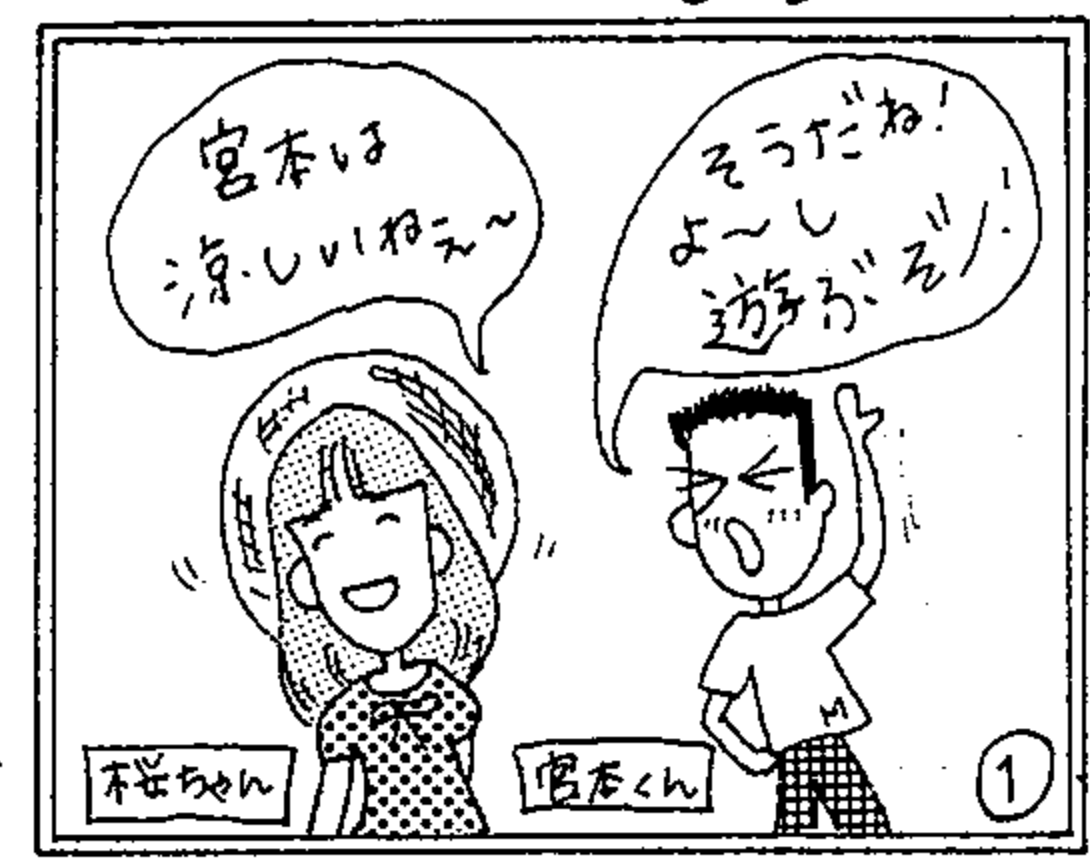
石見銀山世界遺産登録おめでとうございます



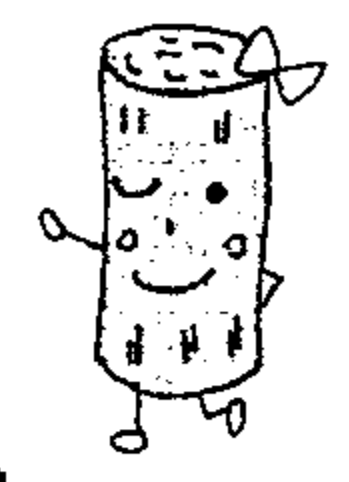
お久しぶりでございます。宮右衛門じゃ。今回は前回掲載した『現在の聖谷』を当時のたたら場の姿に復元してみたぞ。皆の声がかんこえて来そうじゃよ。



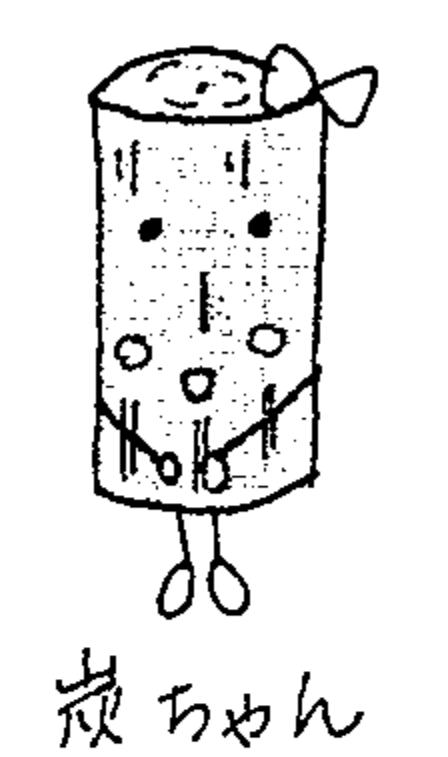
この発掘やろう宮本



炭ちゃんの

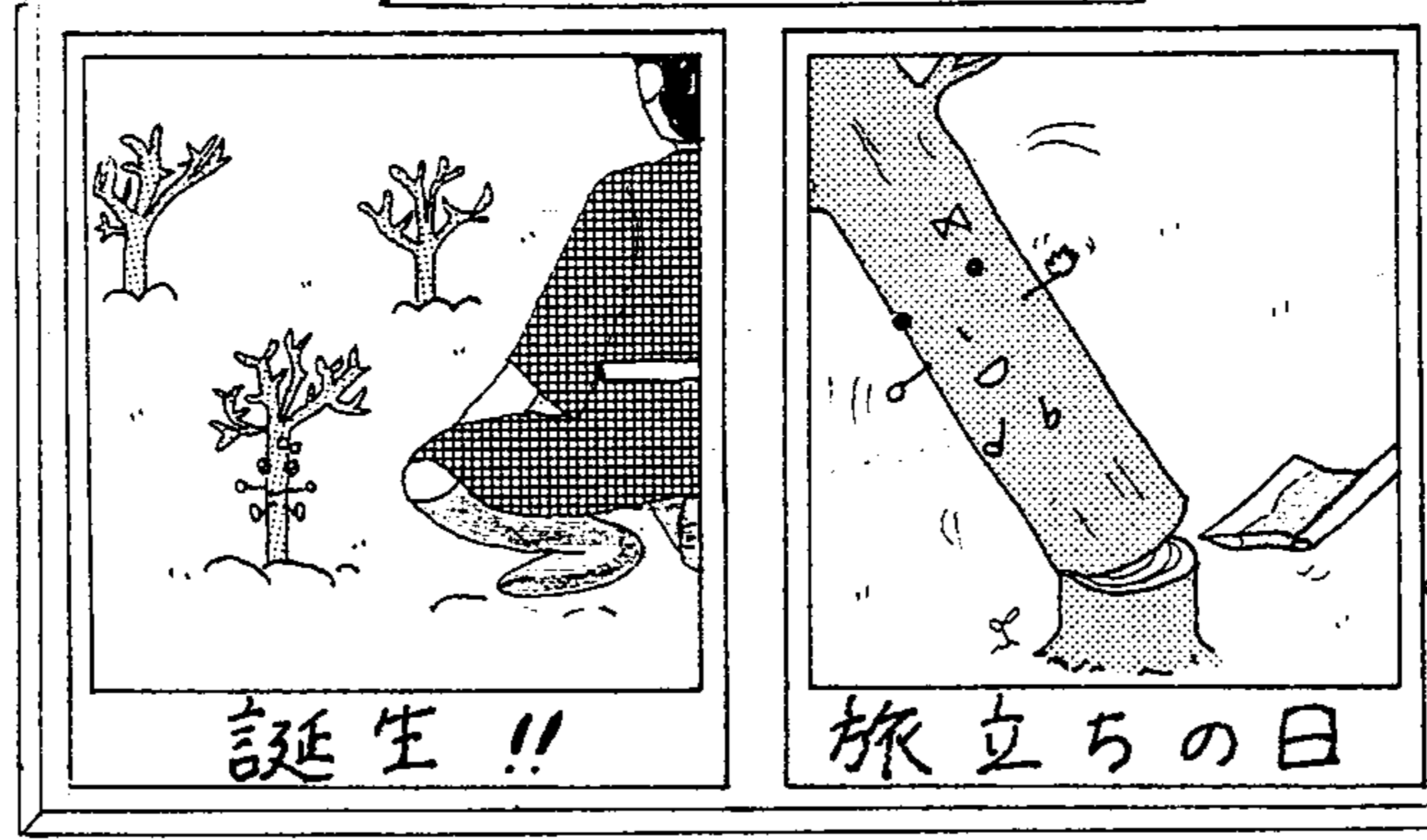


今回は私達炭の事についてお話しするわ。炭はたたらにとって必要不可欠な存在なの、では炭が出来あがるまでを見ていさしよう!



成長記録

誕生~幼少期



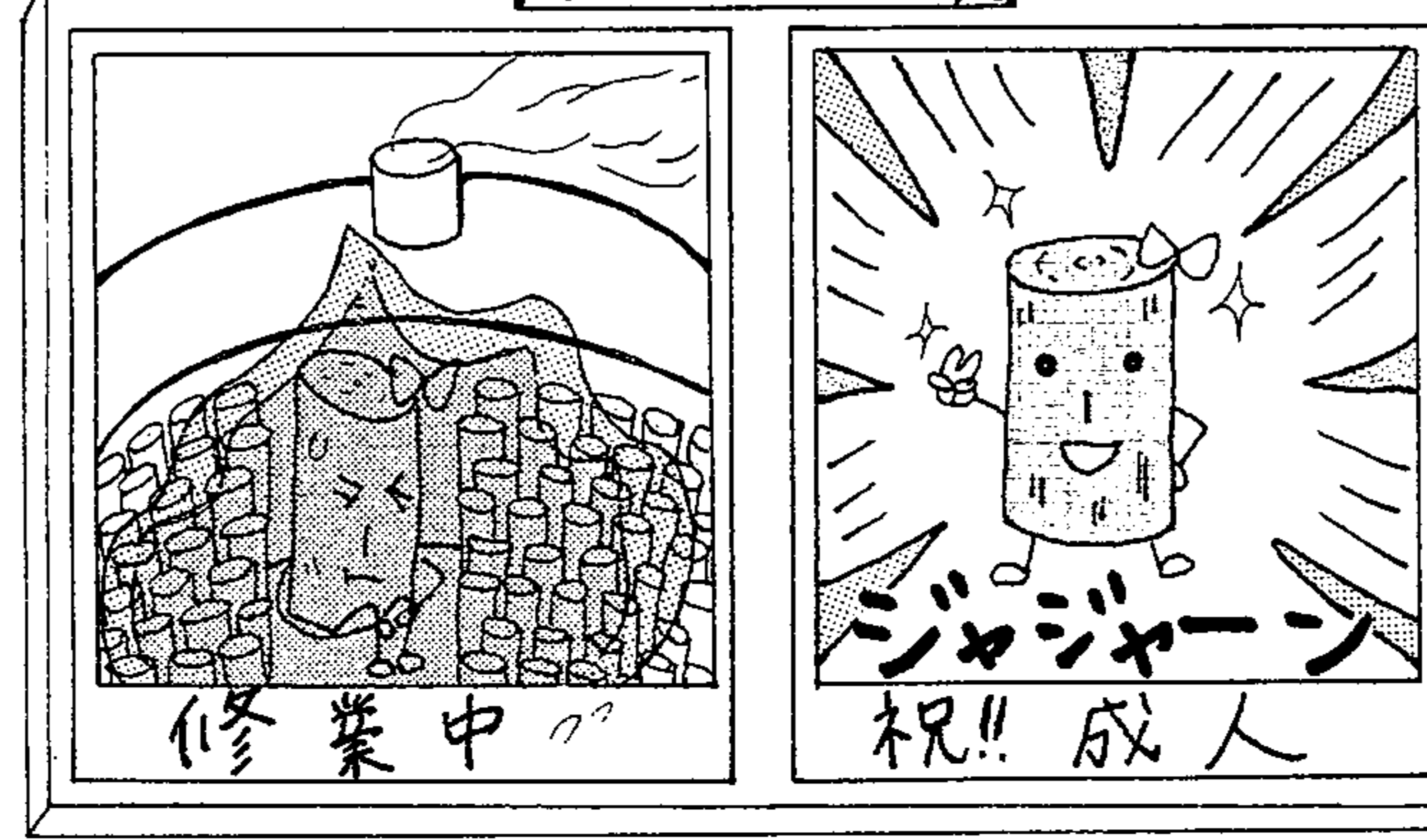
たたらには、ものスゴイ量の炭が使われていたの。その量はたたら回でなんと約15t!! その量の炭を作るために生木が約60tもあるの。そしてこの量の生木をそろえるには、約1ha(109-14)の森林の広さが必要なのよ。スゴイ量でしょー!!

ちなみに、木が切り出せるまで成長するには約30年かかるのじゃ。ずっとたたらを続けていくためには約1800ha*(出雲トナ 1800個分)と、ものスゴイ広さの森林が必要だったんじゃー!! * たたら1回(約)1ha X 1年のたたら回数(約)60回 X (約)30年 = 1800ha

一口メモ

越堂たたらで使用された炭の一部は、隠岐の島から船で運ばれてきたんだ

青年期

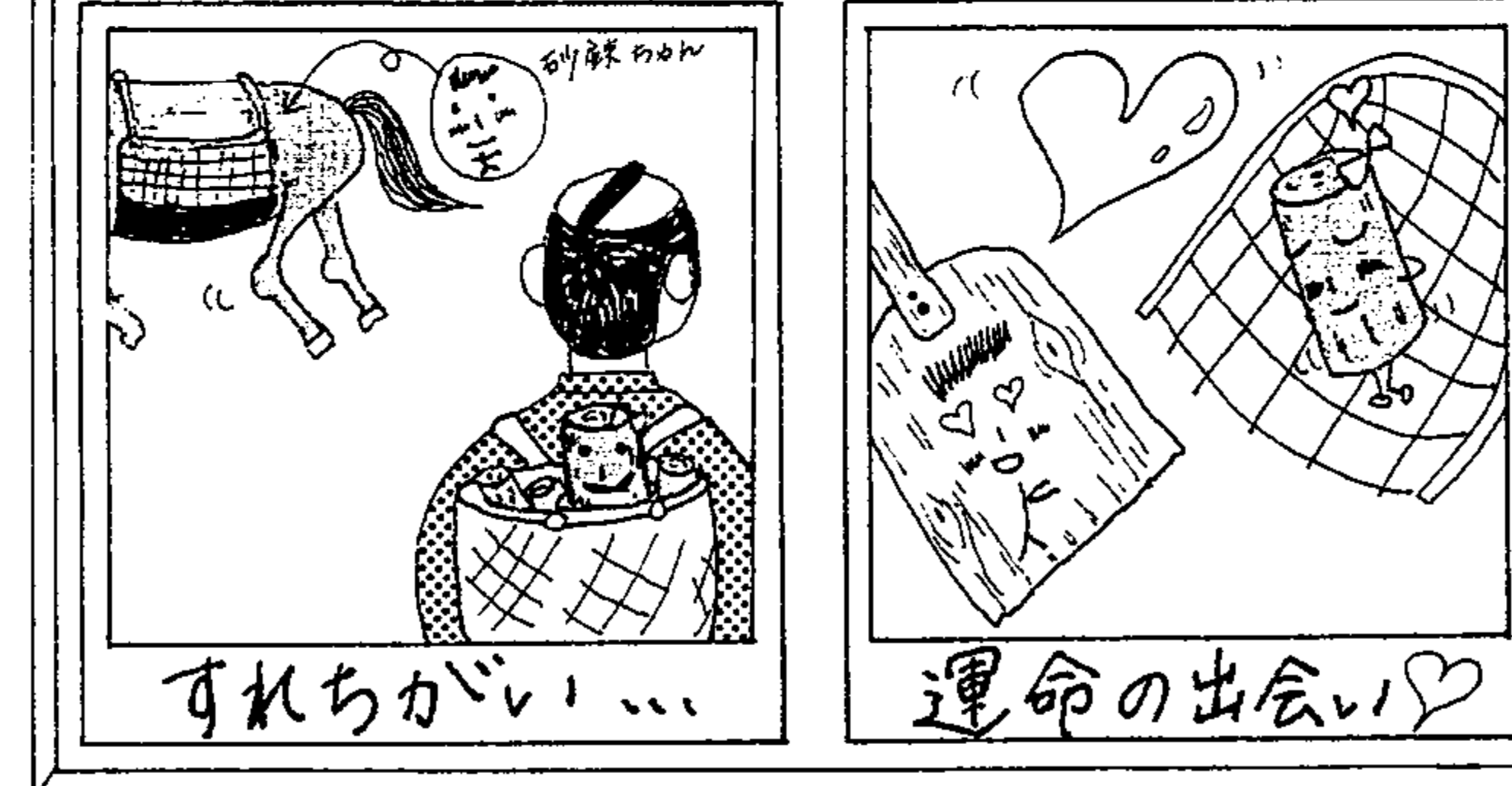


山から切り出された私達は、立派な炭になるために、^{すみかま}炭窯に入れてもらって、7~8日間焼かれるのよ。そして、やっと黒く立派な炭になれるの。

一口メモ

本宅跡の石垣周辺には、昭和の炭焼く窯の跡が残っているんだよ。(製鉄とは関係ないですが...)

恋愛期



出来あがった私達は、第1編んだ入れ物に入って、たたら場へ運んでもらったのよ。そしてそこで、砂鉄ちゃんとお出合ったの!